

エゴン・シーレ／愛欲と陶酔の日々（1980）

EGON SCHIELE
EXCESS AND PUNISHMENT

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 オーストリア／西ドイツ

時間 94分

初公開日 1983/02/19

公開情報 大映インターナショナル

【解説】

19世紀末のオーストリア耽美派画家のスキャンダラスな生きざまを、冷めたタッチでつづる暗澹たる映画。横溢する退廃ムードは、まさにシーレの画そのまま、といっても過言ではないだろう。愛人のモデルに扮するJ・バーキンもまた、彼の絵から抜け出してきたかのごとし。年端もいかない少女のヌードを描いて事件となり、開き直るでもなく落ち込むばかりのシーレは、意外と常識的な人物に見える。実際、愛に飢えた彼にひたすら同情的な内容で、そこが不満だったりする。音楽はB・イーノ。

【クレジット】

監督 ヘルベルト・フェーゼリー

脚本 ヘルベルト・フェーゼリー

レオ・ティシャット Leo Tichat

撮影 ルドルフ・ブラチェック Rudolf Blahacek

音楽 ブライアン・イーノ Brian Eno

アットン・ウォン・ウェーベルン

メンデルスゾーン Mendelssohn

出演 マチュー・カリエール Mathieu Carriere

ジェーン・バーキン Jane Birkin

クリスティーン・カウフマン Christine Kaufmann